著者見参
わたしの1冊

NFAの大崎社長が上梓

「派遣社員をやりなさい！」

人材派遣会社、㈱エヌエフエー（東京・大田区）の大崎玄長社長がこのほど、総合法令出版から『やりたいことを仕事にするなら、派遣社員をやりなさい！』を上梓した。

「派遣社員は給料が安く、安定した生活ができなくてかわいそう」というマイナスイメージが先行していることに眉をひそめる大崎氏。派遣社員が自分のライフスタイルに合わせて働いている実情と、その仕組みを書いた。

同書が発売されるとSNSには『派遣社員をやりなさい！』としたタイトルに賛同する書込みもあったが、反発も相次いだ。しかし、派遣社員のなかには企業から信用を得て、正社員そして役員にまでなったケースや、「残業なし」の条件で時間を有効に使って念願の起業を果たすといった成功者もいる。

特定の職種、業務を自分自身で選べる派遣社員は、希望する部署に配属されなくてやる気を失くした正社員より、むしろ有意義な働き方ができている現実があることを同書で紹介している。

「派遣は勝ち組」と言い切る大崎氏。2006年にエヌエフエーを設立し、のべ約1万人と約400におよぶ派遣先企業への就業に努めてきた。

「育児をしながら働きたい」「ショールームの受付をしたい」という女性たちが会社の高い評価を受けて、継続契約となり仕事も楽しんでいる。俳優業を目指しながら働いていた男性も芸能界デビューして夢を叶えた。なかには月収40万円以上の派遣社員やボーナスが支給された例もあることが記されている。

雇用者全体のうち、非正規雇用者は約4割（14年総務省調べ）で、そのうち派遣社員は約6％の126万人といわれている。一時、派遣社員による業務について規制が強化され、人数が減ったが、この2年間は再び増加し始めているという。

派遣の需要が高まるにつれ、法律も変わった。労働者派遣法は1986年、正社員の仕事が派遣社員にとって代わられることのないよう正社員を保護する意味合いで施行され、「適用業務」は、13種に限定されていた。しかし、いまではほとんどの業務に就ける。禁止されている業務は港湾運送、建設、警備、医療、弁護士など。

「いろいろチャレンジできるのが派遣社員の特権だと思います。常識のある社会人で誠実に勤めれば、企業の信用が得られキャリアアップもできる。失業ゼロの社会を実現するために、この仕事を進めていきたい」という。

第5章では50以上の業務について、求人度数、契約期間、昇給チャンスなどの相場をまとめた。本体1300円。

（M）